

2022年度第2回西日本放送番組審議会

開催年月日 2022年5月10日(火) 14:00~16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名

高嶋克洋	委員長
佃昌道	委員
森下聖史	委員
片岡雅子	委員
山崎達成	委員
古市聖一郎	委員

欠席委員の氏名

藤村晶彦	委員 (文書)
岡田佳子	委員 (文書)

社側の出席者

中村卓朗	(代表取締役社長)
中川弘之	(岡山本社中国総支社長)
小野修一	(報道制作局長)
松村文彦	(報道制作部)

事務局

和家剛	(編成業務部長兼放送審議室長)
香川豊宏	(編成業務部兼放送審議室)
山本峰子	(放送審議室)

2022年度第2回番組審議会議事次第

開催日 2022年5月10日(火) 14:00~16:00
場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長
社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組
『 日本のチカラ
あしたの風にのって～小豆島・・・
波乗り社長の挑戦 』
2. 質疑応答
3. 番組種別の報告

〔参考資料〕

- 放送番組の種別の基準
2021年度下期 番組種別放送時間・番組表
2022年度4月 基本番組表
- 社報 No. 469
- 視聴者対応 3月
- 2021年度第10回番組審議会議事録
- BPO報告 No. 237・238
- 民間放送(新聞)4月13日・4月27日
- 放送倫理手帳2022

〔次回開催予定〕

開催日 2022年6月14日(火) 14:00~16:00
場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議 題 ラジオ番組

『 RNC・RSK 共同ラジオ番組 島島ラジオ 』

以上

【議事概要】

今回は、テレビ番組『日本のチカラ あしたの風にのって～小豆島…波乗り社長の挑戦』を視聴していただきました。

委員からは、今回は桑原さん個人に光を当てていたが、彼は50代なので仲間が結構いるんだと思う。イチゴ農家もそうだが、頑張っている人たちの仲間のネットワークにもっとスポットを当てたらもう少し元気が出たのではないかと。そんな気がした。

地元の中小企業の奮闘を映像で確認させてくれる主旨のいい番組だったと考えた。番組の流れなどについては全国放送ということもあり、冒頭小豆島の見どころなども含めた簡単な紹介から入っており、そのあたりの工夫もできていたように思う。

のんびりした感じで、事件が起きたといってもお弁当のハプニングで、何となくゆったりとした感じでゆっくり見させてもらった。その一方でストーリー性を求めるのであれば、いちごわらび餅はその後どうなったのか。できれば販売されて大ヒットしたとか。そういうものがあればよりドラマチックになったのではないかと思う。その後のストーリーが少し気になった。

インタビューでももう少し深掘りしてもいいのではと思ったが、その後社長の人となりとか、会社の様子などを見るにつけ視聴者が勝手にこういうことなんだろうなというふうに捉えられる感じがした。ただ、登場する若い人たちは男性ばかりで、女性の姿がなかった。大学の無い島なので、高校を卒業すると大学進学のために島外に出て行っていると思われるが、そういう問題もまだまだ残っているように感じた。

30分の時間の中で新商品の開発に取り組む社長の生き様に焦点を当てたのか、新商品の開発そのものに焦点を当てたのか、少し中途半端な印象があった。

全体的に説得力があり、想いの伝わる番組であったが、主力商品の黒豆煮についてや、いちごわらび餅のその後反響についても触れていれば良かったと思う。こうした教育ドキュメンタリー番組は、テレビの持つ重要な役割の一つだと思うので、今後もよい番組作りに期待している。との意見がありました。

制作者からは、今回の番組制作は弊社だけでなく、東京の民教協のプロデューサーとも相談しながら、やっぱり出していきたいのは小豆島の暮らしの生々しさでした。島には島ならではのいいところがたくさんあります。そういう島らしさを伝えたほうが全国のドキュメンタリーのファンの方は見たがっているのではないかというアドバイスもいただきながら、素朴な普段の日常を出していくことにしました。

重要な視点だと思ったのは片岡委員の女性社員の影が薄いとのこと指摘です。放送したのは会社の上層部皆さんの試食シーンでしたが、実際は女性の社員さんの試食シーンも撮影はしています。LGBTを含めて、ジェンダーへの配慮はテレビの制作の現場に求められている視点ですし、これからますます大事になってくるものだと思います。との回答がありました。

審議のあと、放送番組種別・放送番組基準の報告をしました。